

英語科学習指導案

日 時 平成25年11月19日(火) 5校時
展開学級 千葉市立高浜中学校 1年3組
展開場所 1年3組教室
授業者 金子久美子

単元名 New Crown 1 Lesson7 Wheelchair Basketball

1 単元の目標

- (1) インタビュー活動や表現活動に、間違えることを恐れず意欲的に取り組む。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) **can** を用いてインタビューしたり、**can** を用いた英文を書くことができる。(外国語表現の能力)
- (3) 補助犬についての会話文を聞き、内容を理解することができる。(外国語理解の能力)
- (4) 車椅子バスケットボールを見学したレポートを読み、書かれている内容を読み取る。
(外国語理解の能力)
- (5) 助動詞 **can** を用いた文の意味と構造を理解する。(言語や文化についての知識・理解)

■■ 本単元の指導に当たっての考え方 ■■

本単元は、車椅子バスケットボールを題材として取り上げている。**GET** は、メインキャラクターの1人であるポールが、車椅子バスケットボールの選手である兄、ボブについて紹介する場面と、久美が初めて車椅子バスケットボールに挑戦するという2つの場面で構成されている。**Part1** は、「**This is ~.**」から始まり6文で構成されており、基本的な表現を用いた人物紹介のモデルといえる。そのため、音読の課題としても適していると考えられる。**Part2** では、疑問文とその応答文をキーセンテンスとして扱っている。「**Can you move easily in the chair?**」の質問に対し、「**No, I can't. It's hard.**」と2文で答えている点に着目し、**Yes/No** だけでなく、さらに1文を付け加えて応答できる力をつけられるよう指導したい。

また、本課からスタートする **USE Read** は、1年生にとっては初めての長文である。これまで **GET** で扱ってきた会話文とは違い、まとまった量の英文を読むことに抵抗を感じる生徒は多い。そこで、初めての **Use-Read** を読むための予備知識の確認や、新出・既習単語の意味の確認などを段階的に行い、無理なく本文を理解していけるよう配慮する。**USE Listen**、**USE Speak** についても、学習課題がそれぞれ「聞くこと」「話すこと」に焦点化されていることを踏まえ、生徒の実態や興味に合わせた課題を提示し、これらの技能の向上を目指したい。

言語材料の観点から考えると、**can** は **will** について高い頻度で用いられる助動詞である。また、「～できる。」「できない。」「～かもしれない。」という内容の文は日常頻繁に使う表現であり、使用場面を設定しやすい。そこで、身近な人物や事象を話題にしながら、具体性のある例文を数多く紹介し、**can** の使用場面についての具体的なイメージをもたせたい。さらに、**can** は今回初めて学習する助動詞である。そこで、助動詞を含む文の構造を丁寧に指導し、**can** を用いたインタビュー活動や人物の紹介文を書くなどの表現活動にも取り組ませ、**can** を運用する力を確実につけることで今後の助動詞の学習につなげたい。

2 生徒の実態 (男子15名 女子18名 計33名)

(略)

4 指導と評価の計画

時間	ねらい・学習活動	評価規準	評価方法
1	<p>○助動詞 can の疑問文・応答文の構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用い、can を用いた質問と応答の仕方について知る。 ・インタビューシートを用い、can の質問とその応答の仕方を練習する。 ・can を用いた質問を作ってみる。 	<p>アの① エの①</p>	<p>ワークシート点検 インタビューシート点検 後日ペーパーテスト</p>
2	<p>○助動詞 can の肯定文・否定文の構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・can を用いて人物を説明する英文を聞き取り、can を用いた英文の構造を知る。 ・ワークシートを用い、can を用いた文を使えるように練習する。 ・can を用いて自分のできること・できないことを書く。 	<p>エの①</p>	<p>ワークシートの点検 後日ペーパーテスト</p>
3 本時	<p>○Get Part1 の本文の内容を理解する。(教科書 p.80)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーラルイントロダクションで本文の内容を推測する。 ・単語の意味の確認と発音練習を行う。 ・本文の内容を確認し、音読練習を行う。 ・キーセンテンスを用いた簡単な表現活動を行う。 	<p>アの① イの②</p>	<p>プリントの点検 活動の観察と後日音読テスト</p>
4	<p>○Get Part1 本文の確認と表現活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容をオーラルで確認する。 ・本文の音読と、内容についてリスニングテストを行う。 ・本文を参考にしながら、身近な人物の紹介文を書く。 	<p>アの② イの③</p>	<p>活動の観察 プリント点検</p>
5	<p>○Get Part2 の本文の内容を理解する。(教科書 p.82)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーラルイントロダクションで本文の内容を推測する。 ・単語の意味の確認と発音練習を行う。 ・本文の内容を確認し、音読練習を行う。 ・キーセンテンスを用いた簡単な表現活動を行う。 	<p>ウの① イの②</p>	<p>プリントの点検 活動の観察</p>
6	<p>○Get Part2 本文の確認と表現活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容をオーラルで確認する。 ・本文の音読と、内容についてリスニングテストを行う。 ・本文を参考にして、Can を用いた質問に対して 2 文で答える練習をする。 	<p>アの① イの①</p>	<p>活動の観察</p>
7	<p>○USE Read 本文 1 2 の内容を読み取る。(教科書 P.84)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーラルイントロダクションを行う。 ・本文のリスニングを行う。 ・本文の単語の意味の確認と発音練習を行う。 ・ワークシートを用いて本文の内容を確認する。 ・1 In-Reading 1 と 2 を行う。 ・本文の音読練習を行う。 ・本文の内容に関するリスニングテストを行う。 	<p>ウの②</p>	<p>ワークシートの点検</p>

8	<p>○USE Read 本文 34の内容を読み取る。(教科書 P.85)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーラルイントロダクションを行う。 ・本文のリスニングを行う。 ・本文の単語の意味の確認と発音練習を行う。 ・ワークシートを用いて本文の内容を確認する。 ・In-Reading1 と 3を行う。 ・本文の音読練習を行う。 ・本文の内容に関するリスニングテストを行う。 	ウの②	ワークシートの点検
9	<p>○助動詞 can の構造と Use-Read の理解を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can を用いた練習問題を解く。 ・Use-Read の本文を用い、まとまったレポートの内容を読み取る力を確認する問題を解く。 	エの① ウの②	ペーパーテスト
1 0	<p>○音読力を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GetPart1 の音読テストを実施する。 	イの②	音読テスト
1 1	<p>○USE Listen 補助犬についての英文を聞き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーラルイントロダクションでトピックについて推測させる。 ・ワークシートを用い、P.86 の 1 と 2 を行う。 ・スクリプトの穴埋めを行い、文中のキーワードやキーフレーズを確認する。 	ウの③	ワークシート
1 2	<p>○USE Speak can を用いた質問と応答に習熟する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動に必要な単語やフレーズを確認する。 ・ワークシートを用い、P.87 の 1 と 2 を行う。 ・インタビューの結果を口頭で発表する。 	アの① イの①	活動の観察 ワークシート

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ①本文の音読練習に意欲的に取り組む。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ②GET Part1 の本文を自分なりに工夫して音読することができる。

(外国語表現の能力)

(2) 本時の展開

過程	学習内容と活動	指導上の留意点	評価
挨拶(2)	○挨拶をする。 Greet / Weather/ Date	・しっかり声を出させ、英語学習の雰囲気を作る。	
ウォーミングアップ (5)	○ Warming up&Review ・画像を見ながら教師の質問に答えることで、can を含む文の構造を確認する。 T: What can he do? S: He can play baseball.	・自信をもって発言できるよう、生徒が発言しやすい人物の画像を提示する。 ・can の意味と構造を復習できる内容にする。	
導入 (10)	○ 本文の導入 ・ピクチャーを見ながら解説を聞き、内容を推測する。 ・車椅子バスケットボールの動画を見ることで、その様子を理解する。 ・教師の読む本文を聞き、質問に答えることで、本文の内容を理解する。 ○ 本文の単語の確認 ・TVの画面を見ながら、単語の意味と発音を確認する。 ・本文中のフレーズについて、その意味を口頭で確認する。	・写真を見せながら、生徒に質問する形で内容を解説する。 ・本単元で扱う車椅子バスケットボールについて、動画を見せることでイメージをつかませる。 ・ピクチャーを見せながら、ゆっくり聞き取りやすいスピードで本文を読み聞かせる。 ・本文の理解につながるような質問をする。 T: What does Bob like? S: He likes sports. He likes basketball. ・スムーズな音読活動につなげるためにも、単語の発音練習をしっかりと行う。 ・本文理解につながるようなフレーズの意味を確認することで、本文内容につなげる。	
練習1 (10)	○ 本文の音読練習を行う。 ・本文を2回聞き、黒板に貼り出されたホワイトシートの空欄部分に入る単語を聞き取る。 ・リッスン・アンド・リピートする。 ・教科書を開き、読めない単語を友達同士確認し合う。	・冠詞や前置詞など、聞き取りづらい部分を穴埋めにし、集中して聞く必要性を高める。 ・集中して聞かせることで、リズムやイントネーションなどをつかませる。 ・フレーズからセンテンスへと、無理なく段階的に音読活動を進めていく。 ・机間指導しながら、読めない生徒に個別に対応する。全く読めない生徒にはカタカナのふってある教科書のコピーを配布し、音読活動についていけるよ	活動の観察 (目標①)

<p>練習 2 (20)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・立って 2 回音読する。 ・テキストを見ないで教師の音読をリピートする。 ・教師の音読に合わせ、オーバーラッピングリーディングを行う。 ・バズ・リーディングを行う。(1 分間) <ul style="list-style-type: none"> ・部分的に隠された単語を推測しながら、本文を読む。 <p>○Enjoy Reading</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>感情を込めて読むことができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆スピードに変化をつける ◆強調する部分をつくる </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教師のモデルリーディングを参考に強調して発音する語を 2 つ決め、配布された本文のコピーに印をする。 ・グループを作り、5 分間個人練習を行う。 ・グループで 1 人ずつ音読発表を行い、残りの班員で評価する。 (目標が 1 つ達成できていたら 1 ポイント、2 つとも達成できていたら 2 ポイントとする。) ・グループのベストスピーカーを決め、報告する。 	<p>う配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間延びしないよう活動と活動の切り替えをスムーズに行い、テンポよく練習を進める ・声の大きさに注意させ、連語や脱音につながるよう、スピードを上げて読ませる。 ・内容の理解も兼ねて、キーワードを隠しても本文が読めるかを確認する。 ・隠す単語の数を徐々に増やすことで、飽きさせず何度も音読させる。 ・目標を 2 つ提示することで、英文の読み方を工夫させる。 ・感情を込めた読み方について生徒が理解できるよう、強調する語やスピードを変えてモデルリーディングを行う。 ・机間指導しながら、うまく読めていない生徒や目標を理解していない生徒をフォローする。 ・発表者が音読しやすいよう、聞き手の態度をきちんとさせる。 ・ベストスピーカーを発表し、本時の音読練習への取り組みについてよかった点をほめる。 	<p>後日音読 テスト (目標②)</p>
<p>まとめ (3)</p>	<p>○学習目標が達成できたか確認する。</p> <p>○終わりの挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標が達成できたかを挙手にて確認し、賞賛する。 ・次回の学習内容を知らせる。 ・明るい雰囲気での挨拶し、気持ちよく授業を終える。 	

(3) 本時の評価

- ①本文の音読練習に意欲的に取り組めたか。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ②GET Part1 の本文を自分なりに工夫して音読することができたか。(外国語表現の能力)